



◆◆流行性角結膜炎◆◆

流行性角結膜炎患者との接触や、ウイルスにより汚染されたティッシュペーパー、タオル、洗面器などに触れるなどして感染します。感染力が大変強く、家庭内感染や院内感染を起こすことが多いです。季節としては8月を中心として夏に多く、幅広い年齢層にみられます。



◆症状◆

結膜の充血、まぶたのむくみ、涙目、目やにを伴い、耳前リンパ節の腫れと押すと痛みが出る場合が多いです。異物感、眼痛を訴えることもあります。感染力が強いため両目が感染しやすいですが、最初に発症した眼の症状がより強いです。新生児や乳幼児では偽膜性結膜炎を起こし、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすことがあるので注意する必要があります。



◆治療・予防◆

通常、発病後2~3週間程度で治癒します。対症療法として抗炎症剤の点眼を行い、さらに角膜に炎症がおよんで混濁がみられるときは、ステロイド剤を点眼します。細菌の混合感染の可能性に対しては、抗菌剤の点眼を行います。患者の分泌物の取扱いと処分に注意し、手洗い、消毒をきちんと行いましょう。

予防の基本は接触感染予防の徹底です。



タオルや点眼液など目に接触するものは個人用とし、共用は避けましょう。



定点種別	疾患名	状況	31週(7/29~8/4)		32週(8/5~8/11)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	1	0.04	1	0.04
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	373	14.92	232	9.28
小 児 科	RSウイルス感染症	/	39	2.44	36	2.25
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	2	0.13	9	0.56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	33	2.06	42	2.63
	感染性胃腸炎	—	32	2.00	38	2.38
	水痘(みずぼうそう)	—	1	0.06	2	0.13
	手足口病	○	131	8.19	84	5.25
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	9	0.56	6	0.38
	ヘルパンギーナ	—	27	1.69	22	1.38
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	11	2.20	5	1.00
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	6	1.20	3	0.60
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし